

# 市民の声を市政に反映！

藤沢市2月定例議会が終わりました。2022年度の予算案を審議する議会でした。日本共産党藤沢市議会議員団は市民のみな

さんの声を市政に反映させるために全力で取り組みました。みなさんの要求が実現したものもあります。それらの一部を紹介します。

## 「核兵器廃絶平和都市宣言」看板を修繕します

市内に4カ所ある「核兵器廃絶平和都市宣言」の看板を修繕する経費が2022予算に計上されました。市民からも苦情が寄せられていたものです。

## 市内の認可保育園にコロナ抗原検査キットを配布

藤沢市は、陽性者が1人でもでると休園にしていた方針を変え、原則開所にしました。その上で、全員に検査キットの配布を決め、3月22日以降配布をはじめます。問題点はありますが、一歩前進です。

## 津波避難情報看板とハザードマップが改定(4月1日より)

何回も要望してきた、津波避難情報看板が31箇所設置されることになりました。また、ハザードマップの改訂版も13地区の市民センターなどに掲示される予定です。

## 子どもの医療費無料化の所得制限を撤廃！

藤沢市は中学生まで子どもの医療費は無料(所得制限あり)です。党議員団は医療費に所得制限を付けるべきではないと撤廃を求めてきました。今回、やっと実現しました。また、質疑で18歳までの無料化拡大を求めました。(東京都は実施しています)

## 店舗・事業所等リニューアル補助金を今年も実施

人気があった住宅リフォーム助成制度がコロナ対策の一環で2020年度から復活。2022年度も継続し、店舗・事業所は一件10万円、100件分、住宅は一件5万円、200件分の予算が計上されました。

## パートナーシップ宣誓制度の充実を求めました

藤沢市のパートナーシップ宣誓制度は昨年4月から始まり、23組の方が利用されています。予算委員会では制度改善と充実を求めました。市は今後利用者へのアンケート調査を実施すると答弁しました。

議員団のホームページのQRコードです「市民アンケート」をインターネットで回答できるページも用意しました。ご利用下さい。



## 日本共産党 藤沢市議会報告

No.300 2022年春季号  
2022年3月27日(連絡先) Tel. (25) 1111(内) 5649  
(ホームページ) <http://fujisawagakai.sakura.ne.jp/fujisawa>  
(E-mail) [fujisawa.kyosan@gmail.com](mailto:fujisawa.kyosan@gmail.com)

この市議会報告は「政務活動費」で作成しています。



藤沢市議会議員 柳沢潤次  
藤沢市議会議員 土屋俊則  
藤沢市議会議員 山内幹郎  
藤沢市議会議員 味村耕太郎

市民アンケートにご協力下さい。みなさんの声を市政に反映させます。別紙…アンケート用紙がインターネット回答をご利用下さい。

# 国民健康保険料 値上げ中止を！

コロナ禍と収入減などで生活が苦しいのに  
年間一人平均4000円もの値上げ！

国民健康保険に加入している世帯のうち、年金や所得のない世帯が約54%です。加入者一人あたりの旧但し書き所得で平均約89万円なのに、一人あたりの平均の保険料は約10.4万円にもなります。加入者の所得は低いのに、保険料は高いのが国民健康保険です。

値上げの原因は  
県納付金の大幅増額

新しい国民健康保険制度では、藤沢市は神奈川県に国民健康保険事業費納付金を納めることになっていました。その納付金が22年度は4億7千万円余り前年度より大幅増になります。その影響で4000円程度の値上げをせざるを得ないという

のが市当局の説明です。

一般会計からの法定  
外繰入金増額で値  
上げはやめろべき

コロナ禍で生活が厳しくなっている今、一般会計から繰り入れて約7.8億円を少なくとも17年度の約13.3億円に戻せば値上げしなくても

## ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議 藤沢市議会全会一致で採択

藤沢市議会は3月4日、ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議を全会一致で採択しました。決議文は日本共産党市議団が議会運営委員会に提出し、議長・副議長が各会派に諮って議案としてまとめたものです。

全世界の国と戦争に反対する人々が声を上げる事がロシアを包囲することになります。

未就学児の均等割が半分になります  
子どもに国保料の均等割が加算されていますが、国は22年度から未就学児については均等割額を半額にしました。保険料を安くするのは一歩前進ですが、本来、収入のない子どもは加算すべきではありません。

### 2月議会での議案や陳情に対する各会派の態度と採決結果

議案・陳情・意見書の要旨	共	民	市	湘	公	ア	採決会議	結果
令和4年度一般会計予算	×	○	○	○	○	×	本会議	可決
令和4年度特別会計予算：北部二の三・下水道・国保・介護・後期医療	×	○	○	○	○	○	本会議	可決
〃 市民病院・大庭墓園	○	○	○	○	○	○	本会議	可決
湘南海岸砂防林への農薬散布の中止を求める意見書提出についての陳情	○	×	×	×	×	-	厚生環境	了承
児童手当の所得制限撤廃を求める意見書の提出についての陳情	○	○	×	×	×	-	子ども文教	了承
令和3年度子育て世帯臨時特別給付における不公平是正を求める陳情	○	×	×	×	×	○	総務	了承

共：日本共産党(4人) 民：民主・無所属クラブ(10人) 市：市民クラブ藤沢(8人+議長)  
湘：ふじさわ湘風会(7人) 公：藤沢市公明党(5人) ア：アクティブ藤沢(1人)

○：賛成 ×：反対 △：継続 -：該当委員なし

○：賛成  
×：反対  
-：当該委員なし

藤沢市  
2022年度  
予算

# 税金の使い方を变えて コロナ・福祉など・くらし優先に！

## みなさんの要求を実現する財源はあります

**少人数学級とマンモス校の解消を……**小中学校は急いで35人以下学級を実現すべきです。また、1000人を超える過大校の解消も急務です。

**高齢者のバス等助成制度の創設を……**市の調査でも外出支援要望が増えています。署名活動もはじまっています。すぐにでも創設を。

**特別養護老人ホーム待機者解消……**待機者が646人もいるのに、特養ホームの新設計画がありません。新設計画をつくり、早急な建設を。

**農業・中小事業者・商店街の振興を……**買い物難民をなくし、市民の食の安全と確保は暮らしの基本です。振興策の具体化を求めました。

**新型コロナ対策の充実を……**「自宅療養方針」はやめ、PCR検査等を抜本的に増やし、3回目のワクチン接種を急ぐなど医療崩壊の回避を。

**保育園の待機児童の解消を……**認可保育園に申し込んでも入れない待機児童が今年も400人程度に。解消に見合う増設計画と保育士不足解消を求めました。

**中学校給食を単独自校方式で……**冷たくて、喫食率が25%しかない配食弁当はやめ、小学校のように温かい全員制の給食実現を求めました。

**加齢性難聴の補聴器補助制度の創設を……**高齢者の社会参加と認知症予防に役立ちます。東京都では15区がすでに実施しています。

## 大型開発・公共事業の見直しを！

- 村岡新駅設置と拠点整備事業：**中止を**  
(総事業費約400億円、県と2市・JRで分担)
- 新産業の森：**中止を**  
(葛原地区を中心に110畝を工業団地に)
- 遠藤葛原線：**中止を**  
(慶応大学周辺と新産業の森を結ぶ道路60億円)
- 相鉄いずみ野線延伸と周辺開発：**中止を**  
(相鉄延伸に約600億円。慶大周辺を市街化区域に編入)
- 藤沢駅周辺再整備事業：**縮減を**  
(JR・小田急駅舎の改築・自由通路・南北デッキなど改修)
- 市民会館建替は市民的合意を：**見直しを**  
(地下貯水槽90億円を含めて総額340億円を予定)

村岡新駅設置と周辺整備事業を都市計画審議会で決定。市民的合意ができていないムダな大型開発は中止すべきです。また、新産業の森計画や慶応大学周辺の市街化区域編

入は、農地やみどりを削減する計画で見直すべきです。税金の使い方はコロナ対策や福祉・くらし優先に使すべきです。



**村岡新駅設置と周辺整備事業など大型開発優先の方針は見直し、くらし優先に！**

委託料が前年比18億円も増額になっている。主の要因は、市民窓口センター、国保・年金・介護の窓口業務を民間委託にしたことがあげられます。公務職場の領域を狭め、民間への委託をすすめることは、市民サービスの向上にはなりません。それどころか正規職員を非正規職員に置き換え、官製ワーキングプア

を生み出すこととなります。また、国の方針のままに、デジタル市役所をめざしています。マイナンバーの積極的普及に乗り出すなど、市民の大切な個人情報情報を危険にさらすこととなります。デジタル化は拙速にすすめるべきではありません。



**窓口業務の民間委託・拙速なデジタル市役所は、職員の非正規化と市民サービス低下に！**

いきいき交流券が廃止され、スポーツ施設の利用補助と老人福祉センターの入浴助成がなくなり、市民から多くの苦情が寄せられました。新たに助成制度をつくるべきです。また、スズメバチの巣の無料撤去事業も

見直す方針。朝日町駐車場を民間に貸与したことなど福祉施策が削減され、市民サービスが後退しています。市民の健康と福祉・暮らしを守ることを優先にすべきです。



**いきいき交流事業を廃止するなど福祉削減・市民サービス後退の市政運営はやめるべき！**

藤沢市の財政は大変ゆたかです。日本共産党藤沢市議会議員団は2022年度予算審議を通して税金の使い方を大型開発や国いいなりのデジタル化優先ではなく、「コロナ対策や福祉・子育て・教育・防災など暮らしの分野に優先的に使うよう主張しました。

## 藤沢市の財政は豊かです

全国792市中 (2019年決算)  
 自主財源比率 38位 (県内16市中3位)  
 財政力指数 25位 (県内16市中2位)  
 公債費比率 63位 (県内16市中2位)  
 (借金元利返済)  
 財政調整基金は123億円 (22年度30億円取崩予定)

## 歳入自主財源の内訳

(特定の事業ではなく何にでも使える財源) (前年比)  
 市税 ①個人市民税………335億5590万円 (106.2%)  
 ②法人市民税……… 34億4410万円 (131.8%)  
 ③固定資産税………326億0060万円 (101.0%)  
 ④都市計画税他……… 115億0540万円 (100.9%)  
 その他⑤使用料・手数料など 175億2358万円 (100.8%)  
 (構成比)  
 自主財源 合計 986億2958万円 (61.1%)  
 依存財源 合計 627億3642万円 (38.9%)

## 藤沢市2022年度予算

一般会計 : 1613億6600万円  
(前年比103.3%)  
 特別会計 : 1247億6984万円  
(前年比102.7%)  
 合計 : 2861億3584万円  
(前年比103.0%)